

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	百貨店（経営担当）	来客数の動き	・インバウンドや家族連れのレストランが多く、店舗周辺の人流が増加している。
	◎	その他飲食店 〔ファーストフード〕（総務部）	来客数の動き	・夏場は1年で最も繁忙になる時期なので、現状よりも景気は良くなる。ただし、中東情勢による食料資材不足や原材料価格の高騰が懸念される。
	○	一般小売店〔土産〕（営業部長）	来客数の動き	・商品を値上げして3か月経過したが、観光客の増加に伴い売上は前年比で伸びている。ただし、購入点数は減少している。
	○	コンビニ（店長）	お客様の様子	・戸建て住宅やマンション建設が活発なため、建設業関連の来客数が増加している。
	○	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・新たな省エネ基準の導入や、おきなわ省エネ家電購入応援キャンペーン等で3月から来客数は増加しているが、5月は例年より気温が低いいため、前年割れとなっている。
	○	観光型ホテル（専務取締役）	来客数の動き	・来客数は前年を上回り好調に推移している。また、客の消費額も前年を上回る状況が続いている。
	○	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・2月の販売室数が、前年比29%増加に対し、5月は前年比30%増加でプラス幅が増加している。
	○	通信会社（サービスマン担当）	販売量の動き	・親子割引の低価格プランへの見直し需要や、他社からの乗換え契約が増加しており、端末及び回線の販売量が増加している。
	○	観光名所（職員）	販売量の動き	・インバウンドを中心に購入数が増加している。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・飲食店が増加し、小売店は減少している。居酒屋や飲食店は好調だが、小売店は厳しい状況のため、どちらもよい状況が続いている。
	□	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・売上は前年を上回る水準を維持しており、底堅さがみられる。しかし、客足や購買意欲は3か月前から大きな変化がなく、全体的な景況感としては横ばいの状況となっている。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークを終え、5月中旬から下旬にかけて、売上は例年とさほど変わらないが、来客数は減少しているように見える。
	□	その他専門店〔陶器〕（製造）	販売量の動き	・注文数に変化がないため、景気は変わらないとみている。
	□	観光型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・足元は堅調なもの、8月の予約状況は低調となっており、9月の大型連休に需要が分散している。
	□	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・販売量は極端に減少していないが、物価高の影響で上向き要素がみられない。
	□	住宅販売会社（営業担当）	お客様の様子	・住宅新築相談件数が堅調に推移している。
	□	住宅販売会社（役員）	単価の動き	・仲介物件の問合せ等は、3か月前と変化はみられない。また、県内の分譲マンション市場は、県外富裕層のセカンドハウス需要に支えられ、高額ながらも好調である。この旺盛な需要を背景に、物件の販売単価や賃料は3か月前と比較しても下落せず、高水準を維持している。一方で、更なる急騰もみられず、売手と買手の価格意識が高止まりの状態に拮抗しているため、景気は変わらないとみている。
	▲	一般小売店〔酒〕（店長）	単価の動き	・商品包装や、ビニール製品の価格高騰の対応に追われている。
▲	コンビニ（経営企画担当）	来客数の動き	・来客数が鈍化しており、中食の動向も悪く、回復の兆しがみえない。	
▲	一般レストラン（代表者）	来客数の動き	・梅雨が始まったことで、来客数が減少している。	
▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・購入をちゅうちょする客が増えている。エネルギー供給が不安定なことから、支出を抑える客がみられる。	
▲	観光名所（職員）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク後は、販売量及び単価が下がっている。	

	×	スーパー（店舗管理）	それ以外	・石油由来の製品類や包材類が値上げしているだけでなく、入手困難になりつつある。価格転嫁しようにも、競合店の出方を様子見の状態になっている。
企業 動向 関連	◎	—	—	—
(沖縄)	○	輸送業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・大口荷主の契約により、景気はやや良くなっている。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・中東情勢の影響が懸念されるが、見積りは3か月前と比較して大きな変化はなく、横ばいの状況である。
	□	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・中東情勢が不透明なため、建築資材や下請の見積りに影響が出ている。
	□	通信業（総務）	それ以外	・直近は景気の変化を感じない。
	□	会計事務所（所長）	それ以外	・中東情勢による原油関連商品の供給不足や、円安による物価上昇に対して、賃上げが追い付いていない。
	▲	輸送業（経営企画部）	それ以外	・中東情勢の影響により、燃料費や物流関連資材の価格高騰に加えて、物価上昇に伴う人件費の増加もあり、全体として原価負担が増加している。
	×	—	—	—
雇用 関連	◎	—	—	—
(沖縄)	○	求人情報誌製作会社（審査）	求人数の動き	・エステや期間限定のレジャー関連において人員確保の動きが活発化しており、接客やサービス業全体の求人数は3か月前と比べて20%増加している。
	□	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人案件に対して求職者の動きが鈍く、マッチングにつながらない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年比で求人数は横ばいとなっており、求人者からは人手不足の相談を受けている。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・企業は人手不足解決のために、新卒採用を活発化している。景気は好調に見えるが、物価高騰の影響により消費行動は積極的ではない。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—